

NCGM の外来アフェレシス治療について

アフェレシス療法は、専用の医療機器を使って血液などの体液を体外へ取り出し、そこに含まれる病気の原因物質を分離して除去するとともに、不足している物質を補うことにより、体内のバランスを整える“血液浄化療法”の一種です。病気の原因物質を取り除くことによって症状を軽減し、薬物治療などが効きやすい状態をつくることができます。

<https://medicalnote.jp/contents/230324-003-AN>

下記はアフェレシスが適応となる疾患になります。多岐にわたる疾患に適応があることがわかります。

疾患分類	疾患名	PE	DFP P	PA	HA	CAP
神経疾患	重症筋無力症	○	○	○		
	ギランバレー症候群	○	○	○		
	多発性硬化症	○	○	○		
	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	○	○	○		
皮膚疾患	天疱瘡・類天疱瘡	○				
	中毒性表皮壊死症、スティーブンスジョンソン症候群	○				○
	膿疱性乾癬					○
腎疾患	関節症性乾癬					
	巣状糸球体硬化症	○	○	○		
	透析アミロイドーシス				○	
	ABO不適合or抗リンパ球抗体陽性の腎移植	○	○			
	ANCA関連RPGN	○	○			
	糖尿病性腎症			○		
消化器疾患	移植後抗体関連型拒絶反応	○	○			
	抗GBM型RPGN	○	○			
	潰瘍性大腸炎					○
その他	クローン病					○
	難治性腹水、胸水					(CART)

疾患分類	疾患名	PE	DFP P	PA	HA	CAP
肝疾患	術後肝不全	○	○	○		
	急性肝不全	○	○			
	劇症肝炎	○		○		
	慢性C型肝炎	○	○			
	ABO不適合or抗リンパ球抗体陽性の肝移植		○			
血液疾患	肝性昏睡				○	
	過粘稠度症候群（MMなど）	○	○			
	血栓性血小板減少性紫斑病	○	○			
	溶血性尿毒症症候群	○	○			
循環器疾患	インヒビターを有する血友病	○	○			
	閉塞性動脈硬化症	○	○	○	○	
	家族性高コレステロール血症	○	○	○		
膠原病疾患	川崎病	○	○			
	悪性関節リウマチ	○	○	○		
感染症	全身性エリテマトーデス	○	○	○		
	重症敗血症、敗血症性ショック					○
産科疾患	薬物中毒	○				○
	重度血液型不適合妊娠	○	○			

伊藤孝史. 日本アフェレシス学会雑誌 41(3). 2022.より引用改変

当院のアフェレシス治療の特徴

- ① 当院は**日本アフェレシス学会認定施設**として、すべてのアフェレシス治療に対応してまいります。当院には**日本アフェレシス学会認定血漿交換療法専門医・指導医**が在籍しております。また、総合病院として幅広い領域の疾患に専門的な対応が可能です。



血液浄化療法室スタッフ（英中越など多くの言語に対応可能です）

- ② 代表的なアフェレシス療法である血漿交換では、メジャーな膜分離はもちろんのこと、**カテーテルの挿入を必要としない、末梢血管を用いた遠心分離式での治療も多く行なっております。**カテーテル挿入が不要のため、外来通院しながらでも治療が可能です。



スペクトラオプティア
遠心型血液成分分離装置



ACH-Σ
血液浄化システム



M-CART
腹水濾過濃縮用装置

- ③ **炎症性腸疾患や皮膚疾患などに対する血球成分吸着除去療法（CAP）療法も積極的に行なっております。**

	顆粒球除去療法 (GMA)	白血球除去療法
製品名	アダカラム	イムノピュア
承認年	2000年	2020年
吸着担体の形状	ビーズ	ビーズ
吸着担体の素材	酢酸セルロース	ポリアリレート
除去される細胞	顆粒球 65% 単球 55% リンパ球 数%	顆粒球 50% 単球 70% 血小板 70%
保険適応	活動期UC、寛解期UC 大腸に活動性病変を有するCD 膿疱性乾癬、および関節症性乾癬	活動期UC (中等症難治例)
血液流量・時間	30 ml/min, 60分	30 ml/min, 60分
UXでの回数	1クール計10回 (劇症では11回) 2週間に1回、48週間まで (寛解維持)	1クール計10回
禁忌	特になし (再使用不可)	特になし (再使用不可)



ワイヤレス超音波画像診断装置を用いた安全・
確実な血管穿刺を心がけています